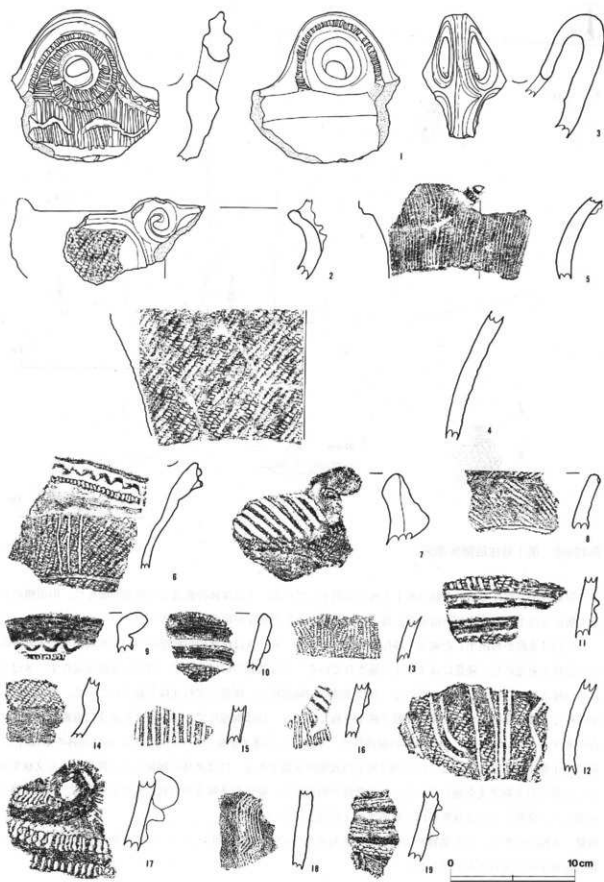


第408図 第1号住居跡実測図

3は深鉢の把手部片で、伊南側の覆土上層から出土している。5は深鉢の頸部から胴部の破片で、伊南側の覆土下層から出土した破片と伊南東側の覆土下層から出土した破片が接合している。

6～19は本跡から出土した縄文土器片の拓影図である。6、9は深鉢の口縁部片で、交互刺突文による連続コの字状文を巡らし、隆帯にはキザミが施されている。7は深鉢の口縁部片で、斜位に沈線を巡らす。8は深鉢の口縁部片で、縄文が施されている。10は深鉢の口縁部片で、隆帯に平行沈線が施されている。11は深鉢の胴部片で、隆帯を貼りつけた後に沈線と縄文を施している。12は胴部片で、単節縄文を地文に直線や波状に沈線を垂下させている。13、14は深鉢の胴部片で、単節R Lの縄文が施されている。15、16は深鉢の胴部片で、縦位に沈線文が施されている。17～19は阿玉台式期の土器である。17は深鉢の胴部片で、隆帯により文様を描出し、押し引き刺突文を施している。18は深鉢の胴部片で、縦位の条線文が波状に施されている。19は深鉢の胴部片で、隆帯による文様を描出し結節沈線文が施されている。

所見 本跡の時期は、出土遺物から縄文時代中期後葉(加曾利E I式期)と考えられる。阿玉台式期の土器は遺物包含層からの流れ込みと思われる。



第409圖 第1号住居跡出土遺物実測圖

第1号住居跡出土遺物観察表

図録番号	器 種	寸法(cm)	器形及び文様の特徴	胎土・色澤・焼成	備 考
第409図	深 鉢 縄文土器	B (12.2)	口縁を有する把手部から口縁部片。把手部にはキザミを有する隆帯によって褐色文が、口縁部以下には交り縄文が施されている。口縁部には押突工具による沈線文を施文とし、押突を痕状に帯出している。把手の内面にも隆帯にキザミが施されている。	石灰・長石・雲母 にぶい褐色 普通	P 1 5% PL122 腹中層 (加賀村E1式)
2	深 鉢 縄文土器	A (22.4) B (6.8)	口縁部片。隆帯に比較的沿うことにより、褐色文が施されている。隆帯で区別された内側にはR1の縄部縄文が施されている。	石灰・長石・雲母 にぶい褐色 普通	P 2 5% PL122 腹中層 (加賀村E1式)
3	深 鉢 縄文土器	B (10.0)	把手部片。把手は眼鏡状で立体的である。孔の周囲に沿って、隆帯と沈線文を施している。	石灰・長石・雲母 加褐色 普通	P 3 5% PL122 腹中層 (加賀村E1式)
4	深 鉢 縄文土器	B (10.1)	胴部片。胴部は緩やかな曲線で外傾して立ち上がり、R1の縄部縄文を施している。	石灰・長石・雲母 にぶい褐色 普通	P 4 5% PL122 腹中層 (加賀村E1式)
5	深 鉢 縄文土器	B (6.0)	胴部から胴部片。隆帯にキザミをもち、胴部から胴部にかけて腹帯に褐色文が施されている。	石灰・長石・雲母 にぶい褐色 普通	P 5 5% PL122 腹中層 (加賀村E1式)

(2) 陥し穴

第1号陥し穴 (第410図)

位置 調査I区の中央部、B110区。

規模と平面形 長径2.00m、短径0.78mの楕円形で、

深さ60cmである。

長径方向 N-62°-E

壁面 はほぼ垂直に立ち上がり、短径方向の断面形は

「U」字形である。

底面 平坦である。

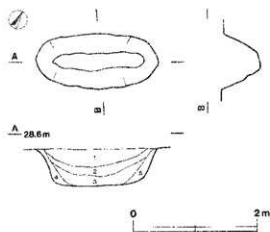
覆土 5層からなり、自然堆積と思われる。

土層解説

- 1 黒褐色 透土砂子・ローム小ブロック・ローム粒子散在
- 2 黒褐色 ローム粒子少量、ローム小ブロック微量
- 3 黒褐色 ローム粒子中量、ローム小ブロック少量、ローム中ブロック微量
- 4 黒褐色 ローム粒子少量、ローム小ブロック微量
- 5 暗褐色 ローム粒子中量、ローム小ブロック微量

遺物 遺物は出土していない。

所見 本跡は、遺構の形態から縄文時代の陥し穴と考えられる。



第410図 第1号陥し穴実測図

(3) 上坑

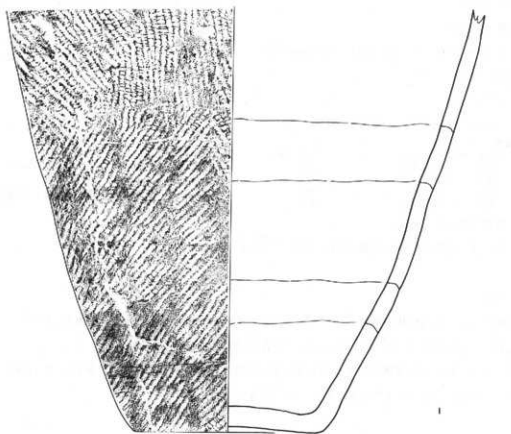
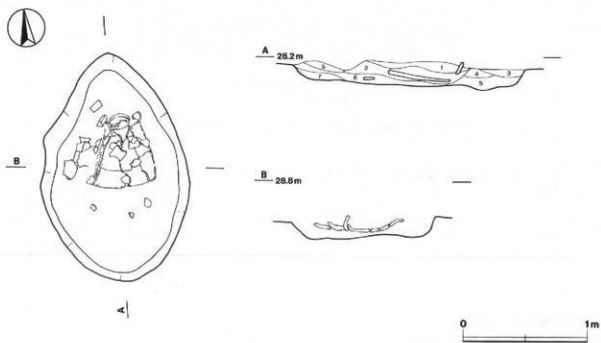
当遺跡からは、土坑18基が検出されている。ここでは上坑の形状、規模、出土遺物等に特徴のあるものについて記載し、それ以外の土坑については土坑一覧表及び実測図で報告する。

なお、上坑と思われる遺構に第1～24号まで番号を付したが、調査の過程で、第15号土坑は陥し穴であり、第4～8号上坑については不明遺構としたため、欠番とした。

第9号土坑 (第411図)

位置 調査I区の南部、C2b1区。

規模と平面形 長径1.84m、短径1.18mの楕円形で、深さ16cmである。



第411图 第9号土坑·出土遺物实测图

長径方向 N-2°-W

壁面 外傾して立ち上がる。

底面 平坦である。

覆土 7層からなる。ローム、焼土及び炭化物の含有物がブロック・粒子とも数多く含まれており、堆積状況もレンズ状堆積でなく、不自然な堆積状況から人為堆積と思われる。

土層解説

- 1 灰褐色 焼土小ブロック・炭化物・ローム小ブロック・焼土粒子・炭化粒子・ローム粒子微量
- 2 黒褐色 焼土小ブロック・炭化物・ローム小ブロック・焼土粒子・炭化粒子・ローム粒子微量
- 3 黒褐色 焼土小ブロック・炭化物・ローム小ブロック・焼土粒子・炭化粒子・ローム粒子微量
- 4 黒褐色 焼土小ブロック・炭化物・ローム小ブロック・焼土粒子・炭化粒子・ローム粒子微量
- 5 黒褐色 焼土小ブロック・炭化物・ローム小ブロック・焼土粒子・炭化粒子・ローム粒子微量
- 6 暗褐色 焼土小ブロック・炭化物・ローム中・小ブロック・焼土粒子・炭化粒子・ローム粒子微量
- 7 黒褐色 ローム粒子少量、ローム中・小ブロック・焼土粒子微量

遺物 縄文土器片46点が出土している。第411図1の上部欠損の大型深鉢が中央部の覆土中層から横位の状態です。

所見 本跡の時期は、遺構の形態や出土遺物から縄文時代中期後葉(加曾利EⅡ式期)と考えられる。大型深鉢は土器棺の可能性も考えられるが、上部が欠損しているため、性格は不明である。

第9号土坑出土遺物観察表

調査番号	器種	計測値(cm)	器形及び文様の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第411図1	大型深鉢 縄文土器	H (45.7) C 19.6	上部欠損。底部から側部にかけてはほぼ垂直的に外傾して立ち上がる。多数のRとLの半筋線文を縦回転で施し、一部斜筋線文がなされている。また、上位には、一部斜の回転による条の痕跡が見られる。	石灰・長石・雲母 に高い割合 普通	F 6 60% PL122 覆土中層 (加曾利EⅡ式)

第24号土坑 (第412図)

位置 調査Ⅰ区の南部, B2j1区。

重複関係 本跡が第1号不明遺構を掘り込んでおり、第1号不明遺構より新しい。

規模と平面形 長径1.62m, 短径1.23mの楕円形で、深さ15cmである。

長径方向 N-35°-E

壁面 緩やかに立ち上がる。

底面 平坦である。

覆土 3層からなり、自然堆積と思われる。

土層解説

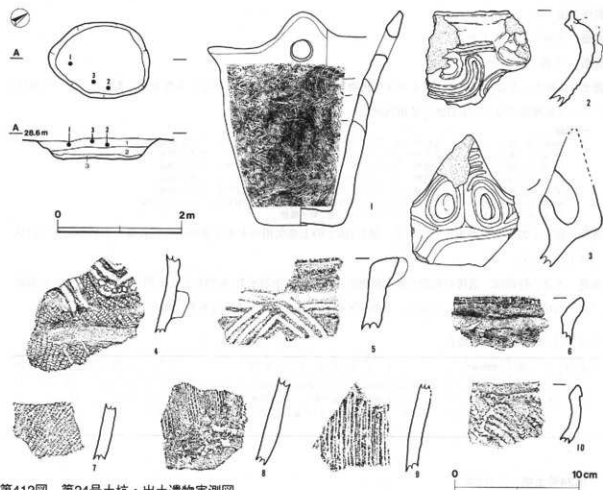
- 1 灰褐色 焼土小ブロック・炭化物・ローム小ブロック・焼土粒子・炭化粒子・ローム粒子微量
- 2 黒褐色 焼土小ブロック・炭化物・ローム中・小ブロック・焼土粒子・炭化粒子・ローム粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、ローム中・小ブロック・焼土粒子・炭化粒子微量

遺物 縄文土器片16点が出土している。第412図1はほぼ完成の深鉢で、南壁寄りの覆土上層から横位で出土している。2は深鉢の11縁部片で、東壁寄りの覆土上層から出土している。3は深鉢の把手部片で、南東壁寄りの覆土上層から出土している。

4-10は本跡から出土した縄文土器片の拓影図である。5, 6, 10は深鉢の口縁部片である。4, 7-9は深鉢の胴部片である。4は降帯貼付けの後、縄文を施している。5は沈線を描き、文様を描出している。6は無文である。7は縄文が施されている。8は縦位の熱糸文が施されている。9は縦位の条線文が施されている。10は縄文を地文に半截竹管による爪形文が施されている。

所見 出土土器は、ほとんどが加曾利EⅡ式期のもので良好な遺物も遺存していた。時期は、出土遺物から縄文時代中期後葉(加曾利EⅡ式期)と考えられる。

上白畑遺跡



第412図 第24号土坑・出土遺物実測図

第24号土坑出土遺物観察表

図版番号	器種	計測値(cm)	器形及び文様の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第412図 1	深 縄文土器	A 15.8	口縁部一部欠損。底部は平底である。底部から胴部上位まではほぼ直立し、口縁部は外傾する。口縁部には1単位の花のある突起を有している。口縁部から底部にかけて、櫛歯状工具による縦方向の流状文が施されている。	石英・長石・雲母 に濃い褐色 普通	P 7 80% PL123 覆土上層 (加曽利E1式)
		B 17.4			
		C 6.6			
2	深 縄文土器	B (7.6)	口縁部片。口縁部は内彎する。口縁部直下には沈線により文様を露出し、隆帯を貼付している。	石英・長石 褐色 普通	P 9 5% PL123 覆土上層 (加曽利E1式)
		B (10.7)			
3	深 縄文土器	B (10.7)	把手部から口縁部片。口縁部は内彎する。把手は三つの孔の空く中空把手で、孔の周囲に隆帯や沈線を描かしている。	石英・長石 褐色 普通	P 8 5% PL123 覆土上層 (加曽利E1式)

(4) 不明遺構

第1号不明遺構 (第413・414図)

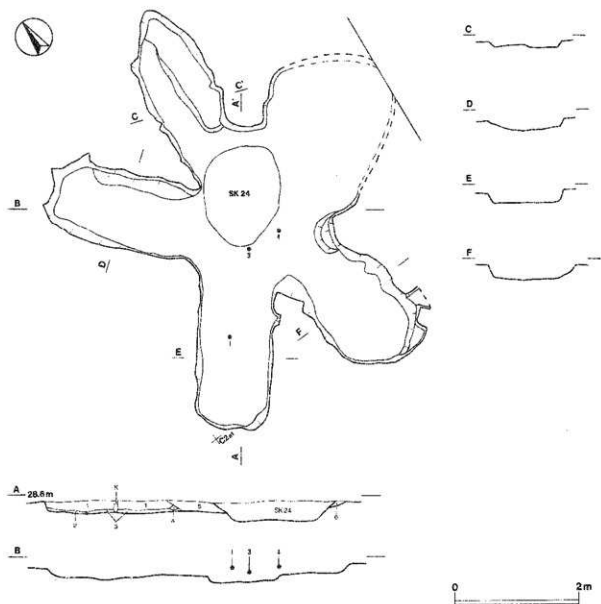
位置 調査I区の南部, B2j1区。

重複関係 本跡は第24号土坑に掘り込まれており, 第24号土坑より古い。

規模と平面形 東半部は調査区域外になるため未調査であり, 規模及び平面形は不明であるが, 長径(6.5)m, 短径(2.2)mの不定形と推定される。

長軸方向 N-0°

壁 壁高は8~12cmで, 外傾して立ち上がる。



第413図 第1号不明遺構実測図

底面 やや凹みがある。

ピット 検出されなかった。

層土 6層からなり、自然堆積と思われる。

土層解説

- 1 黒褐色 焼土小ブロック・炭化物・ローム大・中・小ブロック・焼土粒子・炭化粒子・ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子・ローム粒子微量
- 3 暗褐色 炭化物・ローム小ブロック・炭化粒子・ローム粒子微量
- 4 暗褐色 ローム小ブロック・炭化粒子・ローム粒子微量
- 5 黒褐色 焼土小ブロック・炭化物・ローム小ブロック・焼土粒子・炭化粒子・ローム粒子微量
- 6 暗褐色 焼土小ブロック・炭化物・ローム小ブロック・焼土粒子・炭化粒子・ローム粒子微量

遺物 縄文土器片255点が出土している。第414図1は深鉢の口縁部から胴部の破片で、中央部から南西方向に1.50mほどの覆土上層から出土している。2は深鉢の底部から胴部の破片で、覆土中から出土している。3、4は深鉢の底部から胴部の破片で、中央部の3は覆土中層、4は覆土上層からそれぞれ出土している。

5～19は本跡から出土した縄文土器片の拓影図である。5～11, 18, 19は深鉢の口縁部片である。5は交互刺突文と縦位の沈線が施されている。6, 7は単節縄文を地文に隆帯が貼りつけられている。8, 10は1層部



第414图 第1号不明遺構出土遺物実測図

まで縄文が施されている。9は隆帯により区画された中に、横位の沈線が施されている。11は無文である。12～17は深鉢の胴部片である。12は沈線により区画された中に、熱糸文が施されている。13は沈線を有する2条の隆帯に交互刺突文が施されている。14は熱糸文が施されている。15は隆帯にキザミが加えられ、横位に沈線が施されている。16は縄文と縦位の沈線が施されている。17は縄文を地文に、沈線によって文様を描出している。18と19は阿玉台式期である。18は隆帯貼付と連続刺突文による渦巻文が施されている。19は隆帯に沿って結節沈線文が施されている。

所見 本跡の時期は、出土遺物から縄文時代中期と考えられる。特に、土器の多くが加曽利E I式期であるので縄文時代中期後葉と思われるが、遺構の性格は不明である。

第1号不明遺構出土遺物観察表

図録番号	器種	計測部(m)	器形及び文様の特徴	胎土・色調・施文	備考
第414図 1	深鉢 縄文土器	B (8.7)	口縁部から胴部片。キャリバー形の器形で、口縁部は隆帯により、楕円区画文が施されている。区画内には隆帯とそれに沿う沈線により渦巻文と平行沈線文が施されている。隆帯には、連続刺突文とキザミが加えられている。隆帯直下の胴部は無文である。	石英・長石・雲母 にふい褐色 普通	P14 5% PL123 腹土上層 (加曽利E I式)
2	深鉢 縄文土器	B (4.3) C [12.2]	底部から胴部片。底部から胴部にかけてわずかに外傾して立ち上がる。胴部は無文である。底部には側代痕が見られる。	石英・長石 にふい褐色 普通	P15 10% PL123 腹土中層 (加曽利E I式)
3	深鉢 縄文土器	B (5.0) C [15.4]	底部から胴部片。底部から胴部にかけて外傾して立ち上がる。胴部は、側代痕が著しいため文様は不明である。	石英・長石・雲母 褐色 普通	P16 5% PL123 腹土中層 (加曽利E I式)
4	深鉢 縄文土器	B (4.9) C [6.2]	底部から胴部片。底部から胴部にかけてわずかに外傾して立ち上がる。胴部には細かい沈線文が横位に施されている。	石英・長石・雲母 にふい褐色 普通	P17 5% PL123 腹土上層 (加曽利E I式)

(5) 遺物包含層

1区で、縄文時代の遺物包含層1か所を検出した。遺物は第1層上面から30cm前後の深さ、基本土層の第2・3層に相当する上層にかけて、数多く出土した。ここでは、位置と層位を把握することができた遺物と、位置を把握することができなかった遺物に分けて記載した。

第1号遺物包含層 (第415～421図)

位置 1区調査区の北部、中央部(A2c1～B2il区)。

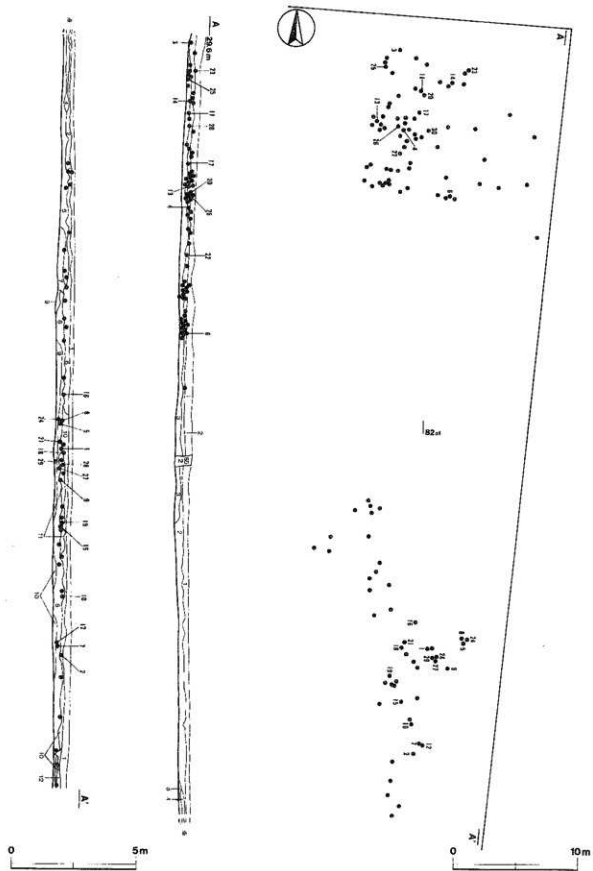
地形の状態 北東から南西方向に若干傾斜している。

規模 長さ70m、幅20mの範囲に広がっている。

土層 12層からなる自然堆積である。傾斜地に向かって、自然に流れ込んだと思われる黒褐色土や暗褐色土の堆積が確認された。第1層は基本土層の第1層に相当し、第2・4・6・10・12層は基本土層の第2層に相当し、第3・5・7～9・11層は基本土層の第3層に相当している。

土層解説

- 1 黒褐色 焼1粒子・ローム粒子微量
- 2 黒褐色 ローム小ブロック・焼土粒子・ローム粒子微量
- 3 黒褐色 ローム中・小ブロック・焼土粒子・炭化粒子・ローム粒子微量
- 4 黒褐色 炭化物・ローム小ブロック・ローム粒子微量
- 5 暗褐色 ローム粒子中量、ローム小ブロック微量
- 6 黒褐色 ローム粒子少量、ローム中・小ブロック微量
- 7 黒褐色 ローム粒子少量、ローム中ブロック・炭化粒子微量
- 8 暗褐色 ローム粒子中量、ローム中・小ブロック少量
- 9 暗褐色 ローム粒子中量、中・小ブロック少量
- 10 黒褐色 焼土小ブロック・炭化物・ローム小ブロック・焼土粒子・炭化粒子・ローム粒子微量
- 11 黒褐色 ローム粒子微量
- 12 黒褐色 ローム中・小ブロック・炭化物・焼土粒子・ローム粒子微量



第415圖 遺物包含層実測図

遺物 基本土層の第2・3層を中心に縄文土器片8604点と石鏃3点、尖頭器1点、打製石斧2点、凹石1点が出土している。

位置と層位を把握できた縄文時代の遺物は、第416・417図1～30である。

1～11は深鉢である。1は口縁部から胴部片、5は3孔の眼鏡状把手を有する口縁部片、9は把手部から口縁部片で、中央部の1と5は8層から、9は11層から出土している。2は把手部から胴部の破片で、10は3孔の眼鏡状把手部片で、中央部南側寄りの2は10層から、10は8層から出土している。3、4は口縁部から胴部の破片で、6は眼鏡状把手部片で、北部の2層から出土している。7は眼鏡状把手を有する口縁部片、8は把手部から口縁部片で、中央部の8層から出土している。11は口縁部片で、北部の3層から出土している。

遺物包含層出土遺物観察表

図版番号	器種	計測値(cm)	形状及び文様の特徴	胎土・色調・焼成	備考
416図1	深鉢 縄文土器	A (18.4) B (13.9)	口縁部から胴部片。波状口縁を呈し、外縁して立ち上がる。口縁部直下の波線部には棒状工具による交互斜文、胴部には爪状文が施されている。胴部には床文にLの半距横文が施され、波線を前縁状及び後状と通らしている。	石英・長石・雲母 に白い赤褐色 普通	P19 28% PL124 8層 (加角利E1式)
2	深鉢 縄文土器	B (13.5)	把手部から胴部片。胴部から口縁部にかけてキザミを有する隆帯により文様を抽出している。口縁部には、交互斜文による波線部の半爪文がキザミを有する隆帯を嵌んで2段に施されている。胴部には縦帯の燕尾文が施されている。	長石・赤色粘土 に白い褐色 普通	P18 5% PL121 10層 (加角利E1式)
3	深鉢 縄文土器	B (8.1)	口縁部から胴部の片。口縁部には交互斜文による波線部の字状文が施され、その直下には棒状工具により前位の波線が施されている。波線が沿う隆帯により、床文が施されている。胴部にはLの半距横文が施されている。	石英・長石・雲母 赤色粘土 に白い褐色 普通	P28 40% PL123 2層 (加角利E1式)
4	深鉢 縄文土器	B (7.2)	口縁部から胴部片。口縁部は、乱距波線文を有する隆帯によって抱門区間文が施されている。区間内には隆帯とそれに沿う波線によって渦巻文が施され、また、前位の波線により文様を抽出されている。キザミを有する隆帯直下の胴部は無文である。	石英・長石・雲母 小石 に白い赤褐色 普通	P22 5% PL121 3層 (加角利E1式)
5	深鉢 縄文土器	B (10.3)	3孔の眼鏡状把手を有する口縁部片。口縁部は内彎する。把手部は棒状工具による波線によって、文様帯を形成している。孔は波線を有する隆帯により、縁取りされている。	石英・長石 に白い赤褐色 普通	P24 5% PL123 3層 (加角利E1式)
6	深鉢 縄文土器	B (8.3)	眼鏡状把手部片。孔はキザミを有する隆帯と、それに沿う波線により縁取りをされている。隆帯と隆帯の間は、棒状工具により波線が施されている。	石英・長石・雲母 に白い赤褐色 普通	P26 5% PL121 2層 (加角利E1式)
7	深鉢 縄文土器	B (7.0)	眼鏡状把手を有する口縁部片。把手部の片側の孔は、キザミを有する隆帯とそれに沿う波線により縁取りをされている。もう一方は無文である。口縁部は波線を有する隆帯によって渦巻文と抱門区間文が施され、区間内には縦帯の縦帯が充ちられている。	石英・長石・赤色粘土 に白い赤褐色 普通	P27 5% PL124 8層 (加角利E1式)
8	深鉢 縄文土器	B (11.3)	把手部から口縁部片。把手部から口縁部にかけては半距横文を地文とし、隆帯とそれに沿う波線によって文様を抽出している。孔は波線を有する隆帯により、縁取りされている。口縁部は内彎する。	石英・長石・雲母 褐色 普通	P20 5% PL124 8層 (加角利E1式)
9	深鉢 縄文土器	B (13.7)	把手部から口縁部の破片。把手は棒状把手で、孔の周囲に隆帯と波線を施らしている。口縁部は地文にLの半距横文が施され、隆帯とそれに沿う波線によって文様を抽出している。口縁部は内彎する。	石英・長石・雲母 に白い褐色 普通	P21 5% PL125 11層 (加角利E1式)
10	深鉢 縄文土器	B (10.1)	3孔の眼鏡状把手部片。上部の孔は、隆帯とそれに沿う波線によって縁取りされ、区間内に交互斜文文。その下に燕尾の波線が施されている。下部の孔は、上部の孔と同様に隆帯とそれに沿う波線によって縁取りされている。	石英・長石・雲母 に白い褐色 普通	P25 5% PL125 8層 (加角利E1式)
11	深鉢 縄文土器	B (6.1)	口縁部片。口縁部には白い隆帯が沿付された後、L Rの半距横文が施されている。	石英・長石・小石 に白い褐色 普通	P23 5% PL124 3層 (加角利E1式)

12～30・34～95は本跡から出土した縄文土器片の撮影図である。12、27は深鉢の胴部片である。13～26は深鉢の口縁部片である。28～30は浅鉢の口縁部片である。

12~21は中韓式期の土器で、中でも12~17は胴取式系の土器である。12~14はキザミを有する隆帯とそれに沿う沈線によって文様を描出している。15はI唇部に交互刺突文が施されている。16は単節縄文を地文に厚手の波状隆帯が貼付されている。17は口縁直下に交互刺突文と連続刺突文が施され、隆帯にキザミが加えられている。18は隆帯によって区画された中に縦位の短沈線が施されている。19は沈線を有する隆帯を貼付している。20は帯状の隆帯を貼付し、その上から交互刺突文を施している。21は口縁部直下に山形状の沈線を巡らし、縄文を施している。

22~30は加曾利EⅠ式期の土器である。22は横位の沈線の下に縦位の沈線が施されている。23はI唇部に隆帯が貼付され、I唇部には縄文を地文に横位の沈線が施されている。24~26は縄文を地文に、沈線に沿う隆帯が貼付されている。27は隆帯とそれに沿う沈線によって、渦巻文が施されている。28は口縁部に交互刺突文による連続コの字状文が施されている。29, 30は無文である。13, 14, 17, 20, 22, 23, 25, 26, 30は北部中央から、12, 15, 16, 18, 19, 21, 24, 27, 28, 29は中央部から出土している。

遺物包含層出土遺物観察表

図版番号	器種	寸法(cm)	器形及び文様の特徴	胎土・色調・産成	備考
4184 31	深鉢 縄文土器	B (6.0) C (10.4)	底部から胴部片。底部から胴部にかけてわずかに外傾して立ち上がる。胴部にはR.Lの単節縄文が施されている。	石英・長石・雲母 にふいや色 普通	P29 5% PL124 腹土中 (加曾利EⅠ式)
32	深鉢 縄文土器	B (4.4) C 8.4	底部から胴部片。底部から胴部にかけて外傾して立ち上がる。胴部には縄文が施されているが、摩滅が著しいため態体は不明である。	石英・長石・雲母 にふいや色 普通	P30 5% PL124 腹土中 (加曾利EⅠ式)
33	深鉢 縄文土器	B (1.7) C 9.6	底部片。底部には胴代面が残されている。	石英・長石・雲母 にふいや色 普通	P31 5% PL124 腹土中 (加曾利EⅠ式)

位置を把握することができなかった縄文時代の遺物は、第418~421図31~103である。

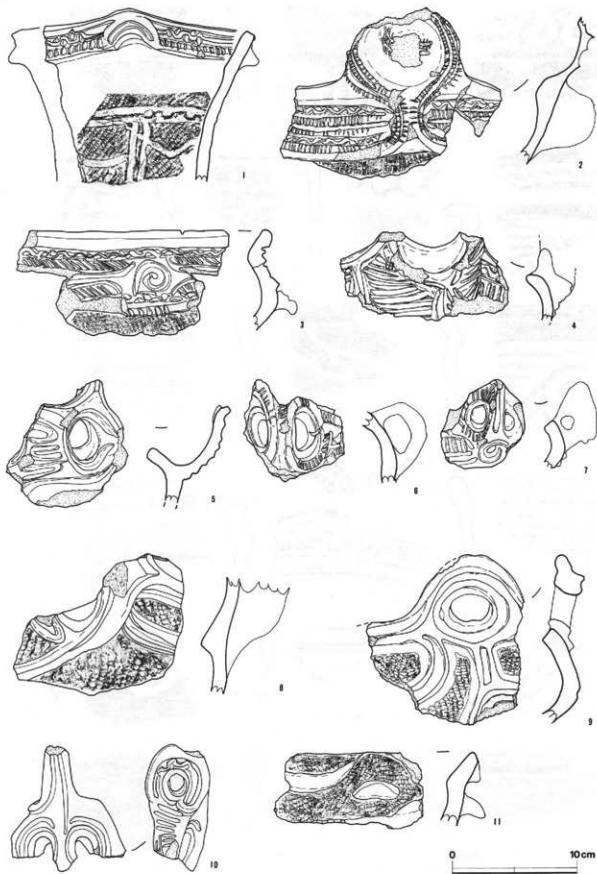
31, 32は底部から胴部にかけての破片で、33は底部の破片である。31~33, 40, 69, 75以外は深鉢のI唇部片である。

34~36は阿玉台Ⅰ式期の土器である。34は口縁部に突起の貼付を、35, 36は結節沈線文を施している。37~39は阿玉台Ⅱ式期の土器である。37, 39は隆帯によって文様を描出された中に結節沈線文を施し、I唇部の隆帯にはキザミが加えられている。38は胎土に多量の金雲母を含み、口唇部の上部に結節沈線文が施されている。

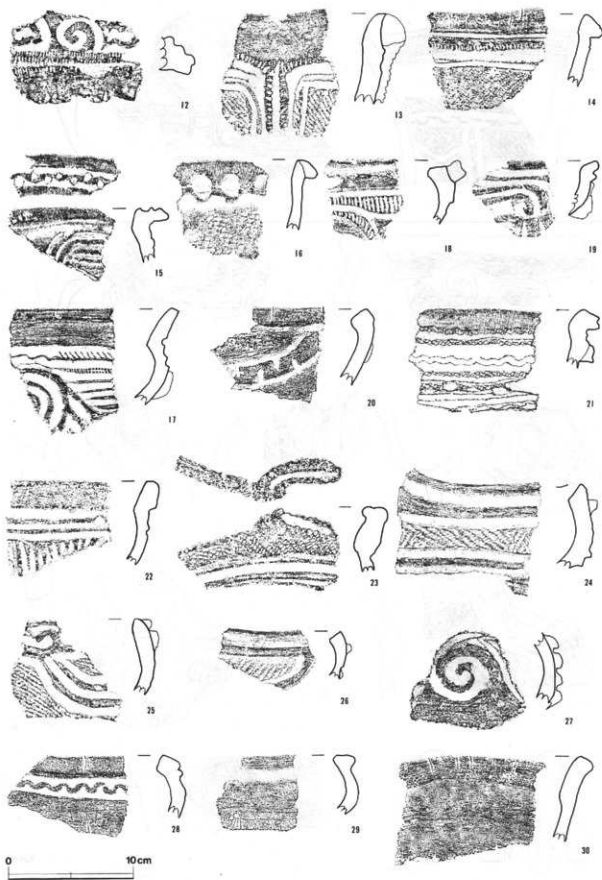
40~46は阿玉台Ⅲ式期の土器である。40はI唇部が欠損した口縁部片で刺突文、41はI唇部にキザミが加えられ、口縁部直下に結節沈線文が施されている。42は隆帯により文様を描出した中に、キザミと波状沈線が施されている。43は押し引き刺突文、44~46は口縁部に結節沈線文が施されている。

47~51は阿玉台Ⅳ式期の土器である。47は隆線により文様を描出しており、中には縦位の沈線が施されている。48はI唇部に縄文が施され、I唇部直下に隆帯が貼付けされている。49~51は地文に縄文が施されている。50は沈線に交互刺突文、51は縦位の隆帯貼付がなされている。

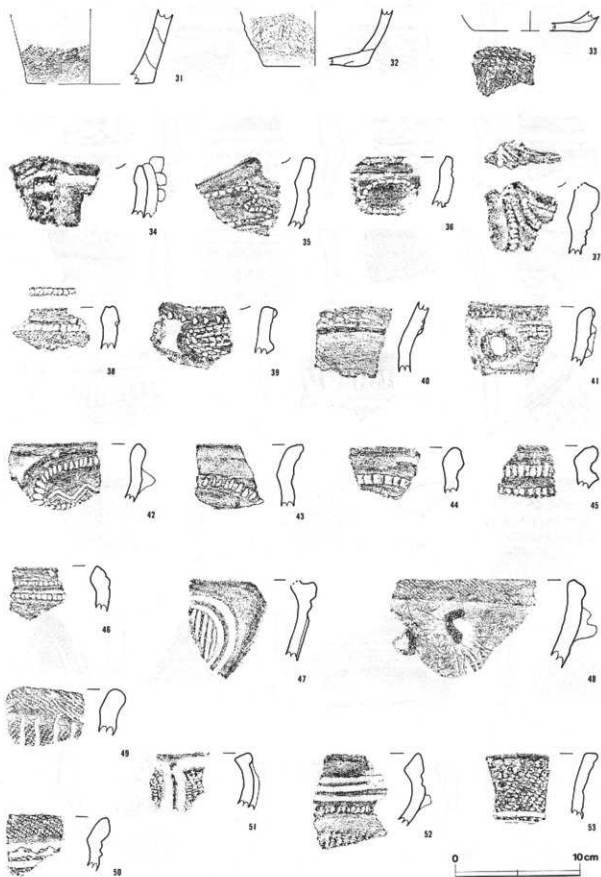
52~77は中韓式期の土器である。52~56は縄文を地文に沈線が加えられている。52は平行沈線と隆帯にキザミが施されている。55は結節沈線文が施されている。57は押し引き刺突文や丸杯状刺突文が施されている。58~62は沈線間を交互刺突する連続コの字状文が施されている。63, 64は単節縄文が施され、65は無文の口縁部に孔が穿たれている。66は波状口縁部片で、隆帯にキザミを加え縦位に沈線が施されている。67は断面がかまぼこ状を呈する隆帯に、キザミが施されている。68は口縁部直下に縦位の沈線が施されている。69は浅鉢の胴



第416图 遺物包含層出土遺物実測図(1)



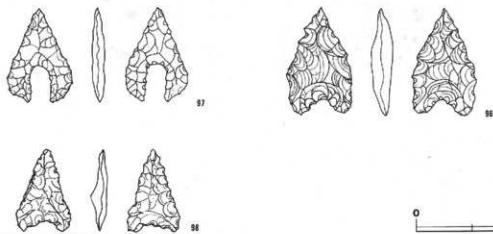
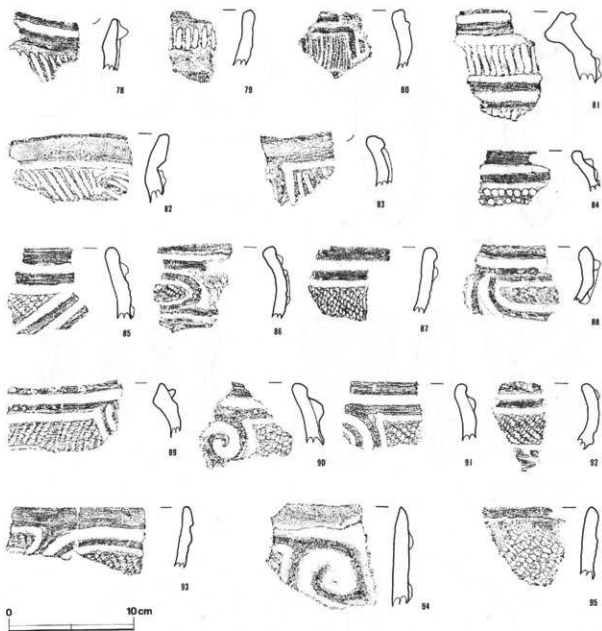
第417図 遺物包含層出土遺物実測図(2)



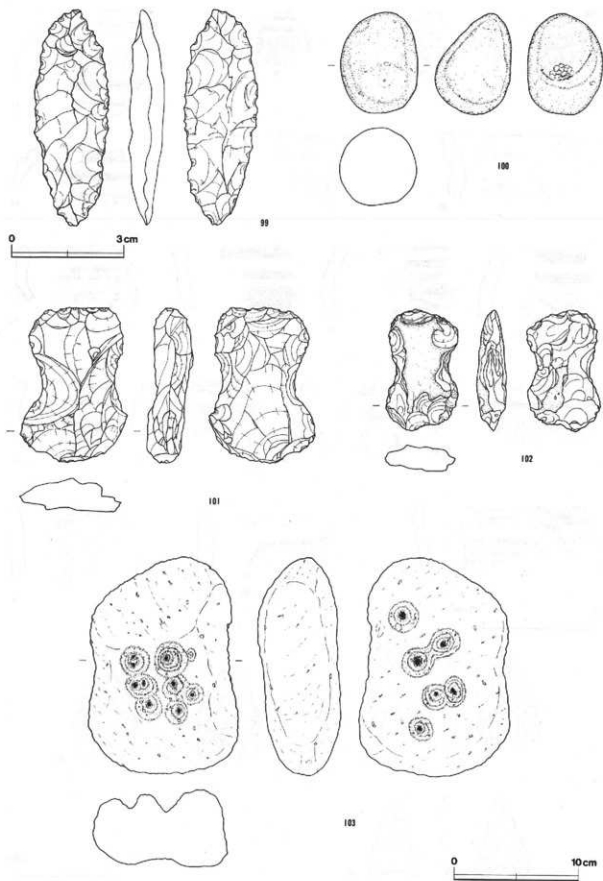
第418图 遺物包含層出土遺物実測図(3)



第419図 遺物包含層出土遺物実測図(4)



第420图 遗物包含層出土遺物実測図(5)



第421図 遺物包含層出土遺物実測図(6)

部片で、沈線間を交互刺突する連続コの字状文が2段に施されている。70は口縁部直下に交互刺突する連続コの字状文と胴部には縄文が施されている。71と72は、口唇部まで縄文が施されている。73は口唇部に斜位の沈線、口縁部には縦位の沈線が施されている。74は交互刺突する連続コの字状文が施され、貼付された隆帯にはキザミが加えられている。

75～77は、中韓式期の土器で腰坂式系の要素を含む土器である。75は把手部分で、内・外面とも隆帯にキザミが加えられている。76は隆帯にキザミが加えられている。77は波状口縁部片で、隆帯にキザミが加えられ胴部には縄文が施されている。

78～92は加曽利EⅡ式期の土器である。78、79には口縁部直下に斜位の沈線が施されている。80、81は口縁部直下に縦位の沈線が施されている。82は条線文を地文とし、隆帯を貼付している。83は波状口縁部片で、隆帯により文様を描出し、縦位の沈線が施されている。84は丸棒状の刺突文が施されている。85～92は地文に縄文が施され、その上に隆帯を貼付けて区画されている。

93～95は加曽利EⅡ式期の土器である。93は沈線に沿う隆帯によって、文様が描出されている。94は沈線に沿う隆帯が渦巻状に貼付され、渦巻文が描かれている。95は粗めの縄文が施されている。

96～103は石器や石製品である。96～98は石畿、99は尖頭器、100は磨石、101・102は打製石斧、103は凹石である。

図録番号	種別	寸 法				石 質	出土地点	備 考
		長さ(mm)	幅 (cm)	厚さ(cm)	重量(g)			
第422図96	石 畿	2.9	1.8	0.6	2.1	黒 曜 石	包含層	Q 2 PL130
97	石 畿	2.5	1.8	0.4	0.9	頁 岩	包含層	Q 3 PL130
98	石 畿	2.2	1.4	0.5	0.8	チャート	包含層	Q 4 PL130
第422図99	尖 頭 器	5.8	2.0	0.9	9.3	チャート	包含層	Q 5 PL130
100	磨 石	8.2	6.2	6.1	405.7	安 山 岩	包含層	Q 6 PL130
101	打 製 石 斧	12.5	8.6	3.8	345.9	安 山 岩	包含層	Q 7 PL130
102	打 製 石 斧	9.8	5.8	2.3	142.3	安 山 岩	包含層	Q 8 PL130
103	凹 石	17.7	12.1	6.3	1378.3	多孔質安山岩	包含層	Q 9 PL130

所見 遺物は包含層の第1層上面から30cm前後の深さ、基本土層第2・3層に相当する土層にかけて数多く出土している。ほとんどの遺物は、縄文時代中期前・中葉(阿玉台・中韓式期)、後葉(加曽利EⅡ式期)のものである。また、住居跡、土坑、不明遺構など加曽利EⅡ式期の遺物が出土する遺構が包含層の下から検出されたことから、包含層は縄文時代中期後葉以降に形成されたと考えられる。

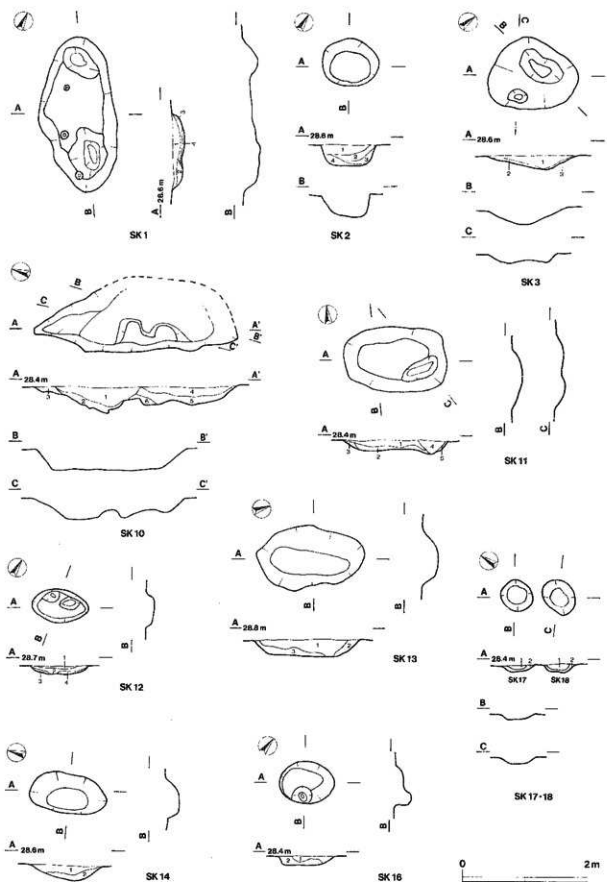
2 その他の遺構と遺物

今回の調査では、時期を明確にできない土坑16基、溝2条、焼土遺構3基を検出した。以下、検出した遺構と遺物について記載する。

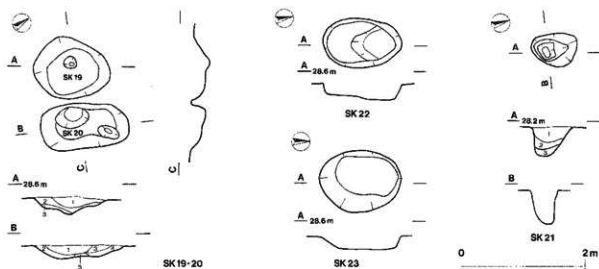
(1) 土坑 (第422・423図)

土坑一覧表及び尖頭器で掲載する。

第1号土坑土層解説	第2号土坑土層解説
1 黒色 ローム小ブロック・焼十粒子・炭化粒子・ローム粒子・黒色粒子微量	1 黒褐色 ローム小ブロック・焼土粒子・炭化粒子・ローム粒子微量
2 褐色 ローム大・中・小ブロック・ローム粒子少量、焼十粒子・炭化粒子微量	2 黒褐色 ローム大・小ブロック・炭化粒子、ローム粒子微量
3 黒褐色 ローム粒子少量、ローム中・小ブロック・炭化粒子微量	3 褐色 ローム粒子少量、ローム中・小ブロック・炭化粒子微量
	4 褐色 ローム大ブロック・ローム粒子少量・炭化粒子微量



第422図 その他の土坑実測図(1)



第423図 その他の土坑実測図(2)

第3号土坑土層解説

- 1 黒色 炭化粒子中量, 炭化粒子少量, ローム小ブロック・ローム粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子中量, ローム小ブロック・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量, ローム大ブロック・炭化粒子微量

第10号土坑土層解説

- 1 黒褐色 炭化粒子少量, 炭化物・ローム小ブロック・焼土粒子・ローム粒子微量
- 2 黒褐色 炭化粒子少量, 炭化物・ローム中・小ブロック・ローム粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子少量, ローム中・小ブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 黒褐色 炭化粒子少量, ローム中・小ブロック・焼土粒子・ローム粒子・黒色粒子微量
- 5 黒褐色 炭化物・ローム中・小ブロック・焼土粒子・炭化粒子・ローム粒子微量
- 6 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化物・ローム中・小ブロック・焼土粒子・炭化粒子微量

第11号土坑土層解説

- 1 暗褐色 焼土小ブロック・炭化物・ローム中・小ブロック・焼土粒子・炭化粒子・ローム粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子中量, ローム大・中・小ブロック少量, 炭化物・焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 明褐色 ローム粒子中量, ローム大・小ブロック少量, 炭化物・炭化粒子微量
- 4 極暗褐色 焼土小ブロック・炭化物・ローム中・小ブロック・焼土粒子・炭化粒子・ローム粒子微量
- 5 褐色 ローム粒子中量, ローム大・小ブロック少量, 炭化物・炭化粒子微量

第12号土坑土層解説

- 1 暗褐色 焼土小ブロック・炭化物・ローム小ブロック・焼土粒子・炭化粒子・ローム粒子微量
- 2 極暗褐色 焼土小ブロック・炭化物・ローム小ブロック・焼土粒子・炭化粒子・ローム粒子微量
- 3 褐色 ローム大ブロック少量, 炭化物・ローム小ブロック・炭化粒子・ローム粒子微量
- 4 暗褐色 炭化物・ローム小ブロック・ローム粒子微量

第13号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子中量, ローム小ブロック微量
- 2 黒褐色 ローム小ブロック・ローム粒子少量, ローム中ブロック・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量, ローム小ブロック少量

第14号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量, ローム中・小ブロック微量

第16号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子中量, ローム小ブロック微量
- 2 褐色 ローム粒子多量

第17号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量
- 2 黒褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子微量

第18号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 炭化物・ローム粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子中量, ローム小ブロック微量

第19号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 炭化物・ローム小ブロック・炭化粒子・ローム粒子微量
- 2 黒褐色 炭化物・ローム中・小ブロック・炭化粒子・ローム粒子微量
- 3 暗褐色 炭化物・ローム小ブロック・炭化粒子・ローム粒子微量

第20号土坑土層解説

- 1 黒褐色 炭化物・ローム大・小ブロック・炭化粒子・ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ローム大・中・小ブロック・炭化粒子・ローム粒子微量
- 3 褐色 ローム大ブロック中量, ローム中・小ブロック・ローム粒子少量, 炭化物微量
- 4 極暗褐色 炭化物・ローム小ブロック・焼土粒子・炭化粒子・ローム粒子微量
- 5 暗褐色 ローム粒子少量, ローム中・小ブロック・炭化粒子微量

第21号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量, ローム小ブロック微量
- 3 黒褐色 ローム粒子中量

表10 上白畑遺跡土坑一覽表

坑番号	位置	長短方向 (採集方向)	平面形	規模		壁面	底面	覆土	出土遺物	備考 新旧関係(古→新)
				長さ(米)・短径(米)	深さ(米)					
1	A1d8	N-26°W	楕円形	2.50×1.20	25	縦割	凹凸	自然	縄文土器	
2	A1g9		円形	0.90×0.76	32	外掘	平坦	自然	縄文土器	
3	B1a7	N-30°E	小楕円形	1.47×1.16	13	縦割	凹凸	自然		
9	C2b1	N-2°W	楕円形	1.84×1.18	16	外掘	平坦	人為	縄文土器(大型雑器)	
10	C1b0	N-13°W	不規則	3.70×1.01	35	縦割	凹凸	人為	縄文土器	
11	B1e7	N-82°W	楕円形	1.67×1.03	17	横割	直状	自然		
12	A1g9	N-61°E	楕円形	0.92×0.55	13	縦割	平坦	自然		
13	A1j0	N-19°E	楕円形	1.73×0.96	36	縦割	平坦	自然	縄文土器	
14	B1e9	N-9°W	楕円形	1.25×0.67	22	縦割	平坦	自然	縄文土器	
16	B1e7	N-51°E	楕円形	0.90×0.68	15	縦割	平坦	自然	縄文土器	
17	B1e9		円形	0.50×0.50	8	縦割	平坦	自然		
18	B1e9	N-2°E	楕円形	0.59×0.47	10	縦割	平坦	自然	縄文土器	
19	B1b0	N-37°E	楕円形	1.23×0.94	23	縦割	平坦	自然		本坪→SK20
20	B1b0	N-29°E	楕円形	1.40×0.72	18	縦割	平坦	自然		SK19→本坪
21	C1g5	N-3°W	楕円形	0.70×0.55	32	外掘	直状	自然		
22	B1c9	N-9°E	楕円形	1.23×0.79	25	外掘	平坦	自然		
23	B1d9	N-2°W	楕円形	1.31×0.98	20	縦割	平坦	不明		
24	D2d1	N-35°E	楕円形	1.62×1.23	13	縦割	平坦	不明	縄文土器	SX1→本坪

(2) 溝

第1号溝(第424・428図)

位置 調査I区北東部, A2b2~B2a3区。

重複関係 本跡が, 第1号住居跡を掘り込んで構築されており, 住居跡より新しい。また, 第2号溝と第1~3号焼土遺構に掘り込まれており, 第2号溝や第1~3号焼土遺構より古い。

規模と形状 南及び北側とも調査区域外になるため規模は不明であるが, 北から南へ延び, 確認された長さは36.2mである。上幅1.80~2.20m, 下幅1.10~1.40m, 深さ60~90cmである。断面は逆台形であり, 底面はほぼ平坦である。

方向 A2c2区から南(N-5°-W)にはほぼ直線的に延び, さらに調査区域外に続く。

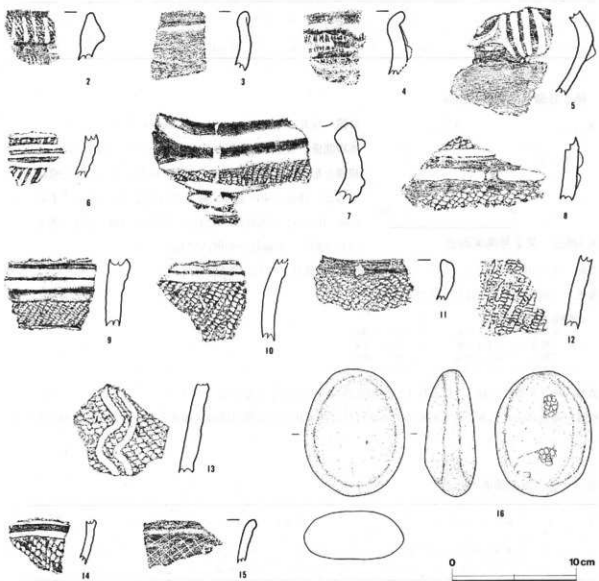
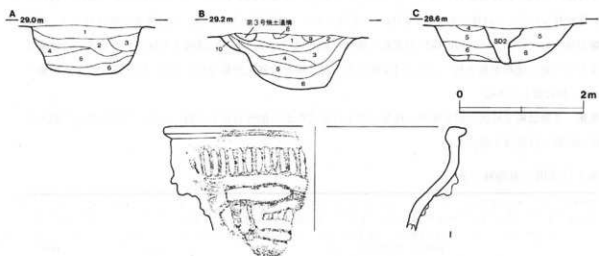
覆土 10層からなり, 自然堆積である。

土層解説

- 1 にぶい褐色 焼土粒子・ローム粒子微量
- 2 黒 褐色 焼土粒子・炭化粒子・ローム粒子微量
- 3 黒 褐色 焼土小ブロック・焼土粒子・ローム粒子微量
- 4 黒 褐色 焼土小ブロック・ローム中・小ブロック・焼土粒子・炭化粒子・ローム粒子微量
- 5 暗 褐色 ローム粒子少量・炭化物・ローム大・中ブロック・炭化粒子微量
- 6 黒 褐色 ローム小ブロック・焼土粒子・炭化粒子・ローム粒子微量
- 7 黒 褐色 ローム中・小ブロック・炭化粒子・ローム粒子微量
- 8 黒 褐色 ローム大ブロック・ローム粒子少量・ローム中・小ブロック・炭化物・炭化粒子微量
- 9 黒 褐色 黒色粒子少量・ローム小ブロック・炭化粒子・ローム粒子微量
- 10 暗茶褐色 焼土小ブロック・ローム小ブロック・炭化粒子・ローム粒子微量

遺物 縄文土器片788点, 磨石1点が出土している。第424図1は深鉢の口縁部から胴部の破片で, 覆土中から出土している。

2~15は本跡から出土した縄文土器片の拓影図である。2~4, 7, 11, 15は深鉢の口縁部片である。5, 6, 8~10, 12~14は深鉢の胴部片である。2は縄文を地文に縦位の沈線が施されている。3は無文である。



第424图 第1号沟·出土遗物实测图

4は縦位の沈線に隆帯貼付がなされている。5は縦位の沈線が施されている。6は刺突文や横位と斜位の沈線が施されている。7は緩やかな波状口縁で、隆帯により文様を描出している。8は隆帯を貼付けた後、縄文と沈線が施されている。9、10は横位の沈線と縄文が施されている。11、12は縄文が施されている。13は縄文を地文として蛇行沈線が施されている。14は横位の沈線と粗めの縄文が施されている。15は格子の条線が施されている。16は磨石である。

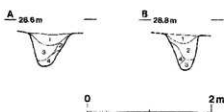
所見 遺物は縄文時代中期前期から後葉（阿玉台Ⅱ式期から加曾利Ⅰ式期）のもので流れ込みと思われ、本跡の時期・性格は不明である。

第1号溝出土遺物観察表

図版番号	器 種	計測値(cm)	器 形 及 び 文 様 の 特 徴	粘土・色調・焼成	備 考
第425図	深鉢 縄文土器	B (10.4) C (0.4)	口縁部から腹部の破片。キャリバー形の器で、口縁部直下には帯とそれに沿う沈線による区画文が描出され、区内に縦位の沈線が施されている。胴部には帯が貼付されている。	石灰長石質中・硬粘土が に多い褐色 常焼	PI10、PI125 遺土中 (加曾利Ⅰ式)

図版番号	種 別	計 測 値				石 質	出土地点	備 考
		長さ(cm)	幅 (cm)	厚さ(cm)	重量(g)			
第425図16	磨 石	10.2	80	4.1	470.0	砂 岩	第1号溝	Q1 PL130

第2号溝（第425・428図）



位置 調査1区北部、A116～A2h3区。

重複関係 第1号溝を掘り込んでいるため、本跡が新しい。

規模と形状 東及び西側とも調査区域外になるため規模は不明であるが、西から東へ延び、確認された長さは30.1mである。上幅0.50～0.75m、下幅0.18～0.21m、深さ50～60cm前後である。断面はJ字形で、底面はやや凹凸である。

第425図 第2号溝実測図

方向 A116区から東(N-73°-E)にほぼ直線的に延び、さらに調査区域外に続く。

覆土 4層からなり、自然堆積である。

土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、ローム小ブロック微量
- 2 黒褐色 ローム粒子中量、ローム小ブロック少量
- 3 黒褐色 ローム粒子少量、ローム小ブロック微量
- 4 暗褐色 ローム小ブロック・ローム粒子中量

遺物 縄文土器片2点、土師器片1点、須恵器片10点が出土している。

所見 遺物は流れ込みと考えられる。本跡は位置、形状から近世以降の区画溝と思われるが、詳細は不明である。

表11 上白畑遺跡溝一覽表

溝番号	位置	本軸方向	形状	規 模				断面	断面方位	覆土	出土遺物	備考 計測箇所(古→新)	
				長さ(m)	土幅(m)	下幅(m)	深さ(m)						
1	A2h2～B2h3	N5°-W	直線式	36.2	1.95-2.20	1.10-1.40	0.60-0.90	外傾	U字状	E→W	自然	縄文土器	S1～S6等→S20、S1～37等土壌層
2	A1j6～A2h3	N77°-E	直線式	30.1	0.50-0.70	0.18～0.21	0.50～0.60	外傾	V字状	南→北	自然	縄文土器、土師器	S21～43

(3) 焼土遺構

調査I区では、焼土遺構3基を確認した。3基とも位置が近く、使用目的は同じであると思われる。

第1号焼土遺構 (第426図)

位置 調査I区の北部, A 2区。

重複関係 第1号溝の上面を掘り込んでいるため、本跡の方が新しい。

規模と平面形 長軸1.85m, 短軸0.47mの不定形で、深さ6cmである。

長軸方向 N-13°-E

土層 2層からなる。

土層解説

- 1 暗赤褐色 焼土中・小ブロック・焼土粒子少量, 炭化物・炭化粒子・黒色粒子微量
- 2 赤褐色 焼土小ブロック・焼土粒子多量, 炭化粒子・黒色粒子微量

所見 本跡の時期・性格については不明である。

第2号焼土遺構 (第426図)

位置 調査I区の北部, A 2区。

重複関係 第1号溝の上面を掘り込んでいるため、本跡の方が新しい。

規模と平面形 長軸1.10m, 短軸0.40mの不定形で、深さ18cmである。

長軸方向 N-17°-W

土層 2層からなる。

土層解説

- 1 赤褐色 焼土大ブロック・焼土粒子多量, 炭化粒子微量
- 2 暗赤褐色 焼土小ブロック・焼土粒子少量, 炭化粒子・黒色粒子微量

所見 本跡の時期・性格については不明である。

第3号焼土遺構 (第426図)

位置 調査I区の北部, A 2区。

重複関係 第1号溝の上面を掘り込んでいるため、本跡の方が新しい。

規模と平面形 長軸0.50m, 短軸0.15mの不定形で、深さ13cmである。

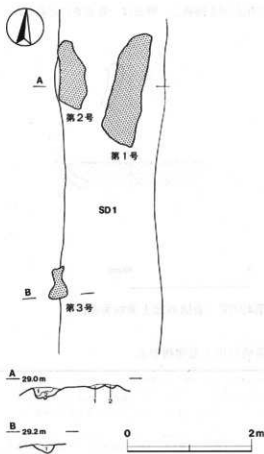
長軸方向 N-0°

土層 単一層である。

土層解説

- 1 赤褐色 焼土粒子多量, 焼土大・小ブロック・炭化粒子微量

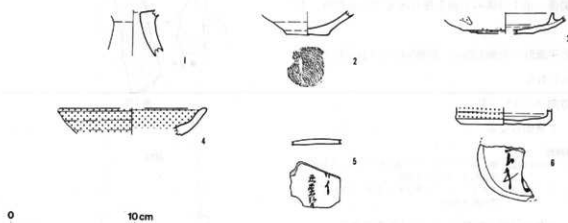
所見 本跡の時期・性格については不明である。



第426図 第1～3号焼土遺構実測図

3 遺構外出土遺物

今回の調査では、表土層、遺構確認面及び覆土中から、遺構に伴わない遺物が出土している。ここでは、古墳時代の土師器（器台）、中世の土師質土器（皿）、近世の陶器（皿、椀）など特徴的な遺物について実測図及び拓影図を掲載し、解説は一覧表等に記載した。



第427図 遺構外出土遺物実測図

遺構外出土遺物観察表

図版番号	器種	寸法(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第427図 1	器台 土師器	B〔3.7〕 E〔3.1〕	脚部片。内側して立ち上がり、上部中央に1孔を穿っている。	体部内・外面ナデ。	石英・長石・雲母 明赤褐色 普通	P32 20% PL129 表土中
2	小皿 土師質土器	B〔1.8〕 C 3.6	口縁部欠損。平底。体部は大きく開いて立ち上がる。	ロクロナデ。底面に回転糸切り痕有り。	石英・長石・雲母 にぶい橙色 普通	P33 30% PL129 表土中
3	灯明受皿 陶器	B〔1.6〕 C〔4.4〕	口縁部欠損。平底。体部は内彎しながら立ち上がる。体部内面中に切り込みの入った環状の仕切がつく。	ロクロナデ。仕切貼り付け。内面及び口縁部外面に鉄輪を施輪。	砂粒・長石 胎土：にぶい赤褐色 輪：黒褐色 良好	P34 40% PL129 表土中 瀬戸・美濃系
4	皿 陶器	A〔12.0〕 B〔2.1〕	底形から口縁部片。平底。体部から口縁部にかけて外傾して立ち上がる。	ロクロナデ。体部内・外面に施輪。底部に台除付痕有り。	砂粒・長石 胎土：灰黄褐色 輪：灰白色 普通	P35 10% PL129 表土中 志野系
5	椀 陶器	B〔0.4〕	底部片。平底。	内面に鉄輪を施輪。底部外面に「正直観□」の墨書有り。	砂粒・長石 胎土：灰黄褐色 輪：にぶい黄褐色 良好	P36 5% PL129 表土中 瀬戸・美濃系
6	椀 陶器	B〔1.4〕 C〔6.7〕	底形から体部片。平底。体部はほぼ直立する。	ロクロナデ。体部に施輪。底部外面に墨書あり。	砂粒 灰黄色 良好	P37 5% PL129 表土中 瀬戸・美濃系

第4節 まとめ

今回の調査で検出した遺構は、縄文時代の竪穴住居跡1軒、陥し穴1基、土坑2基、不明遺構1基、遺物包含層1か所、その他、時期不明の土坑16基、溝2条、焼土遺構3基である。出土した遺物のほとんどは遺物包含層から出土した縄文時代中期の遺物である。

ここでは主として縄文時代の遺構と出土遺物、古墳時代及び中・近世の出土遺物について概要を述べ、まとめとする。

1 縄文時代

今回の調査で中心となる時代である。遺構は竪穴住居跡1軒、陥し穴1基、土坑2基、不明遺構1基、遺物包含層1か所が検出されている。出土遺物は中期の、阿玉台、中峠式（勝坂系も含む）、加曾利EⅠ式期の土器が大部分を占めている。その他、加曾利EⅡ式期の土器が少量出土しており、後期の加曾利B式期の土器も出土しているが極めて少量である。遺構からは縄文時代の土器とともに、尖頭器、石鏃、磨石、凹石なども出土している。

(1) 中期前葉：阿玉台Ⅰ～Ⅳ式期

包含層からの遺物がほとんどである。住居跡、土坑及び不明遺構からも少量出土しているが包含層からの流れ込みと思われる。当該期の遺構は検出されなかった。

(2) 中期中葉：中峠式期

阿玉台式期と同様に当該期の遺構は検出されなかった。ほとんどが遺物包含層からの出土である。この時期の縄文土器は、I縹部文様帯に交互刺突の連続コの字状文が施されているものが多い。また、陸帯にキザミを持つ（勝坂系）の土器も含まれる。

(3) 中期後葉：加曾利EⅠ式期

当該期は当遺跡の中で中心の時期と思われる。竪穴住居跡は第1号住居跡の1軒で、調査区の北東区で検出された。また、第9、24号土坑の2基、第1号不明遺構の1基とも、この時期であると考えられ、いずれも、調査区の東側で検出された。遺構が東側から検出され、谷津が遺跡の東側200mほどにあるので、集落の中心は当調査区よりさらに東側に存在しているものと思われる。

(4) 中期後葉：加曾利EⅡ式期

当該期の遺構は検出されなかった。遺物包含層からこの時期の遺物が少量出土している。

(5) 後期中葉：加曾利B式期

当該期の遺構は検出されなかった。遺物包含層からこの時期の遺物が出土しているが極めて少ない。

以上のように上門細遺跡では土器により縄文時代中・後期を5期に分けることができる。遺物は遺物包含層からの出土がほとんどで、出土状況は第1層上面から30cm前後の深さ、基本土層の第2・3層に相当する上層からである。土器は時期が5期に分けられるが、時期ごとにまとまっておらず、同じ層位から出土している。包含層は縄文時代中期の遺構が近くにあり自然流入で形成されたと考えられる。その包含層が形成された時期は、住居跡や陥し穴、土坑、不明遺構など加曾利EⅠ式期の遺構が包含層の下から検出されていることから、それらの遺構が造られた後の縄文時代中期後葉以降であると考えられる。

上白畑遺跡

2 古墳時代

古墳時代の遺物としては、土師器（器台）1点と少量の土師器片が出土しているが、遺構は検出されなかった。遺物の量から考えて、流れ込みと思われる、この時代には上白畑遺跡やその周辺の集落は小規模であったと考えられる。

3 中・近世

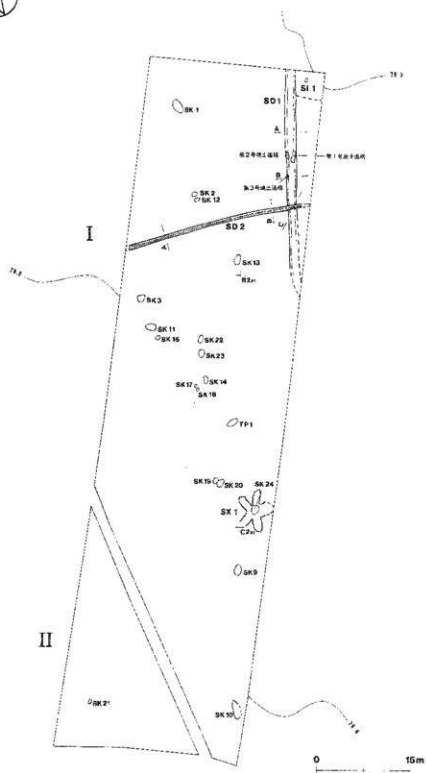
中世の遺物は土師質土器（皿）、近世の遺物は陶器（灯明受皿）、墨書土器が出土しているがいずれも少量で、中・近世の遺構は検出されなかった。古墳時代と同様に、遺物は流れ込みの可能性が高く、上白畑遺跡やその周辺では集落が小規模であったと考えられる。

参考文献

- ・茨城県史編さん第一部会原始古代史専門委員会 『茨城県史料 考古資料編 先土器・縄文時代』 1979年3月
- ・茨城県教育財団 「常北町道105号線道路改良工事地内埋蔵文化財調査報告書 小坂宮方遺跡」『茨城県教育財団文化財調査報告』第104集 1995年9月
- ・茨城県教育財団 「都市計画道荒川沖木田余線街路改良工事地内埋蔵文化財調査報告書 宮前遺跡」『茨城県教育財団文化財調査報告』第118集 1997年3月
- ・茨城県教育財団 「阿見東部工業団地造成工事地内埋蔵文化財調査報告書 星合遺跡・中ノ台遺跡」『茨城県教育財団文化財調査報告』第137集 1997年9月
- ・茨城県教育財団 「伊奈・谷和原丘陵部特定土地地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書4 前田村遺跡」『茨城県教育財団文化財調査報告』第146集 1999年3月



作業風景



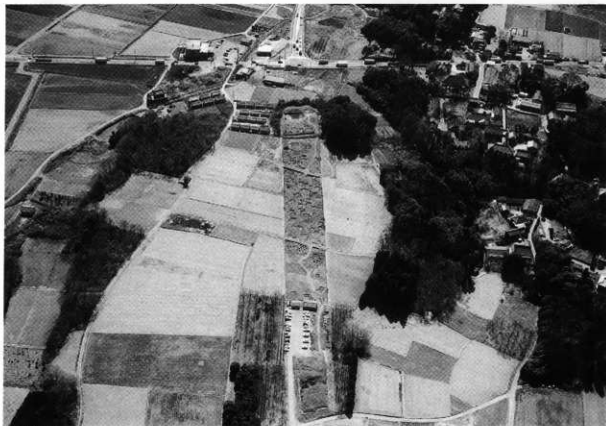
第428図 上白畑遺跡遺構全体図

写 真 图 版

明 石 遺 跡
明 石 北 原 遺 跡
上 白 畑 遺 跡



遺跡全景



遺跡全景



I・II区全景



II・III・IV区全景



I 区遺構確認状況



I 区調査終了状況



I 区調査終了状況



II区遺構確認状況



II区調査終了状況



II区調査終了状況



III区遺構確認状況



III区調査終了状況



III区調査終了状況



IV区遺構確認状況



IV区調査終了状況



IV区調査終了状況



第7·8·10·11号住居跡
完掘狀況



第49·56·58·59号住居跡
完掘狀況



第61·62·68·70号住居跡
完掘狀況



第131～134・144号住居跡
完掘状況



第155・160・163号住居跡
完掘状況



第158・159号住居跡
完掘状況

第19～23・120～124号住居跡
遺物出土状況



第105～112号住居跡
遺物出土状況



第141・142号住居跡
遺物出土状況





調査前風景



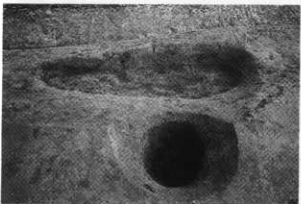
調査前風景



I区遺構確認状況



II区遺構確認状況



第1号陥し穴完掘状況



第2号陥し穴完掘状況



第3号陥し穴完掘状況



第4号陥し穴完掘状況



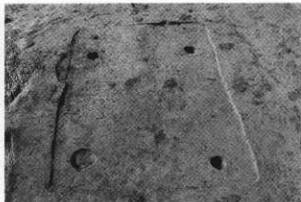
第56号土坑完掘状况



第56号土坑遗物出土状况



第26号住居跡完掘状况



第33号住居跡完掘状况



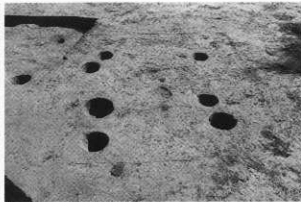
第33号住居跡遺物出土状况



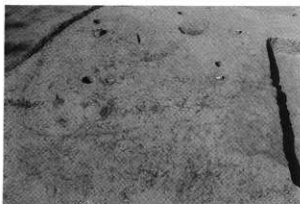
第36号住居跡完掘状况



第36号住居跡遺物出土状况



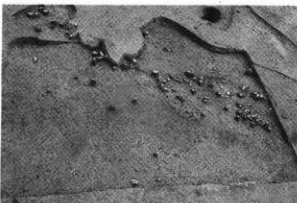
第37号住居跡完掘状况



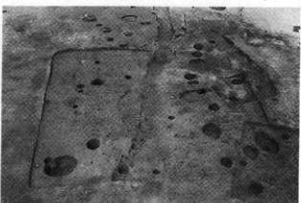
第37号住居跡遺物出土状況



第58・59号住居跡完掘状況



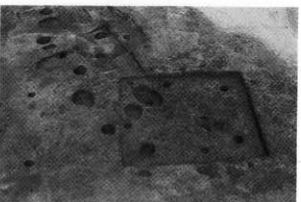
第58・59号住居跡遺物出土状況



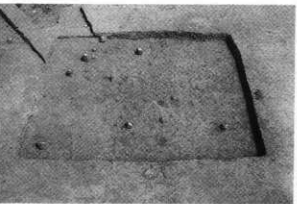
第61・68号住居跡完掘状況



第61・68号住居跡遺物出土状況



第62号住居跡完掘状況



第62号住居跡遺物出土状況



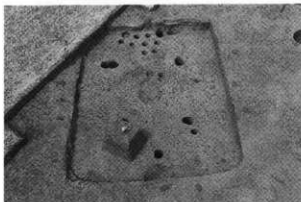
第66・77号住居跡完掘状況



第66・77号住居跡遺物出土状況



第71号住居跡完掘状況



第90号住居跡完掘状況



第90号住居跡遺物出土状況



第93・94号住居跡完掘状況



第93・94号遺物出土状況



第135号住居跡完掘状況



第156号住居跡完掘状況



第2号住居跡完掘状況



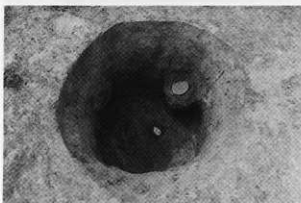
第2号住居跡遺物出土状況



第5号住居跡完掘状況



第5号住居跡遺物出土状況



第5号住居跡貯蔵穴遺物出土状況



第11号住居跡完掘状況



第11号住居跡遺物出土状況



第11号住居跡竈遺物出土状況



第13号住居跡完掘状況



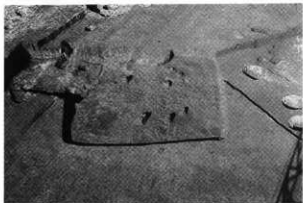
第13号住居跡遺物出土状況



第13号住居跡遺物出土状況



第16号住居跡完掘状況



第16号住居跡遺物出土状況



第21号住居跡完掘状況



第21号住居跡遺物出土状況



第21号住居跡遺物出土状況



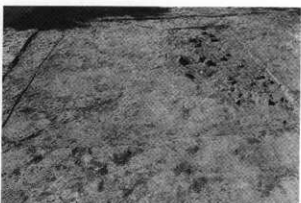
第31・32号住居跡完掘状況



第31・32号住居跡遺物出土状況



第34号住居跡完掘状況



第34号住居跡遺物出土状況



第35号住居跡完掘状況



第35号住居跡遺物出土状況



第38号住居跡完掘状況



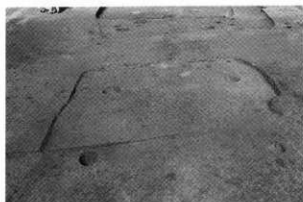
第38号住居跡遺物出土状況



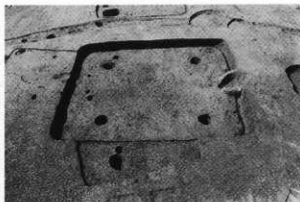
第43号住居跡完掘状況



第43号住居跡貯蔵穴遺物出土状況



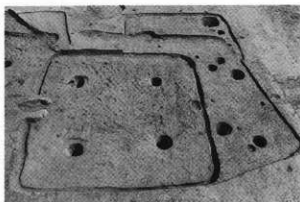
第50号住居跡完掘状況



第51・87号住居跡完掘状況



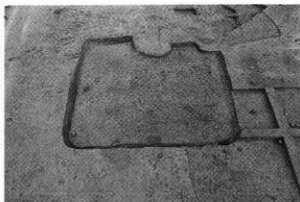
第51・87号住居跡遺物出土状況



第54~56号住居跡完掘状況



第54・55号住居跡遺物出土状況



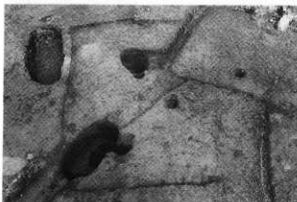
第56号住居跡遺物出土状況



第65号住居跡完掘状況



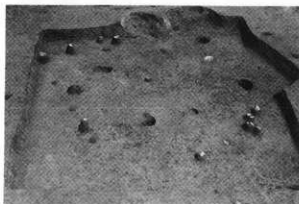
第65号住居跡遺物出土状況



第69号住居跡完掘状況



第74号住居跡完掘状況



第74号住居跡遺物出土状況



第78号住居跡完掘状況



第84・86号住居跡完掘状況



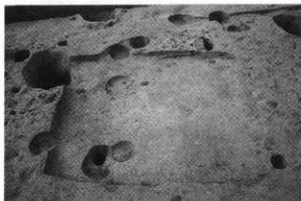
第84・86号住居跡遺物出土状況



第97号住居跡完掘状況



第97号住居跡遺物出土状況



第102号住居跡完掘状況



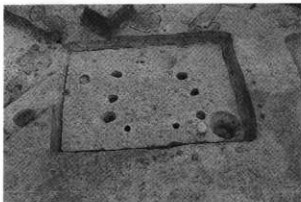
第102号住居跡遺物出土状況



第102号住居跡遺物出土状況



第105号住居跡完掘状況



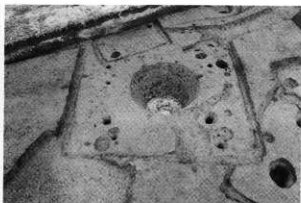
第107号住居跡完掘状況



第107号住居跡遺物出土状況



第110号住居跡完掘状況



第111号住居跡・第2号大形土坑完掘状況



第111号住居跡・第2号大形土坑遺物出土状況



第112号住居跡完掘状況



第112号住居跡遺物出土状況



第115号住居跡完掘状況



第115号住居跡遺物出土状況



第115号住居跡遺物出土状況



第116~118号住居跡完掘状況



第116号住居跡コーナー部完掘状況



第116~118号住居跡遺物出土状況



第119号住居跡完掘状況



第119号住居跡遺物出土状況



第119号住居跡電調査状況



第119号住居跡遺物出土状況



第122号住居跡完掘状況



第122号住居跡遺物出土状況



第122号住居跡遺物出土状況



第122号住居跡貯藏穴遺物出土状況



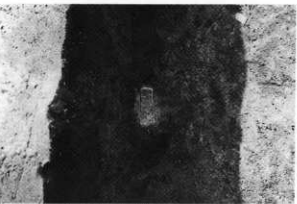
第122号住居跡貯藏穴遺物出土状況



第160号住居跡完掘状況



第160号住居跡遺物出土状況



第160号住居跡遺物出土状況



第161号住居跡完掘状況



第161号住居跡遺物出土状況



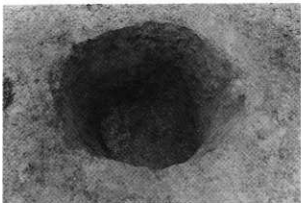
第164号住居跡完掘状況



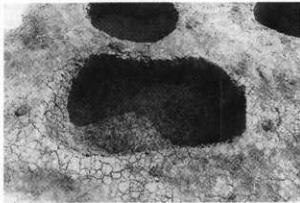
第177号住居跡完掘状況



第177号住居跡遺物出土状況



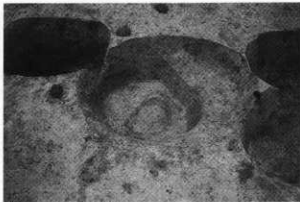
第44号土坑完掘状況



第57号土坑完掘状況



第57号土坑遺物出土状況



第182号土坑完掘状況



第14号溝完掘状況



第14号溝完掘状況



第14号溝遺物出土状況



第14号溝遺物出土状況



第14号溝遺物出土状況



第14号溝遺物出土状況



第1号住居跡完掘状況



第1号住居跡遺物出土状況



第1号住居跡遺物出土状況



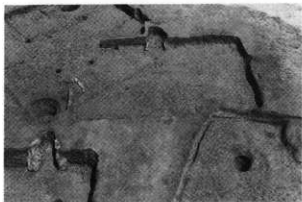
第1号住居跡遺物出土状況



第3・15号住居跡完掘状況



第3・15号住居跡遺物出土状況



第4号住居跡完掘状況



第4号住居跡遺物出土状況



第6号住居跡完掘状況



第6号住居跡遺物出土状況



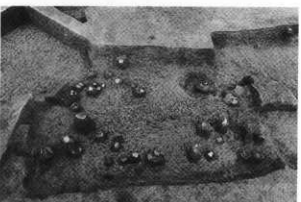
第7号住居跡完掘状況



第7号住居跡遺物出土状況



第8号住居跡完掘状況



第8号住居跡遺物出土状況



第8号住居跡遺物出土状況



第8号住居跡遺物出土状況



第9号住居跡完掘状況



第9号住居跡遺物出土状況



第9号住居跡遺物出土状況



第10号住居跡完掘状況



第12・113号住居跡完掘状況



第12・113号住居跡完掘状況



第12・113号住居跡掘り方完掘状況



第12号住居跡遺物出土状況



第12号住居跡遺物出土状況



第12号住居跡遺物出土状況



第12号住居跡竈遺物出土状況



第13・14号住居跡完掘状況



第18号住居跡完掘状況



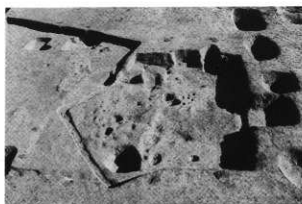
第18号住居跡遺物出土状況



第18号住居跡遺物出土状況



第18号住居跡遺物出土状況



第19・20号住居跡完掘状況



第19・20号住居跡遺物出土状況



第19号住居跡遺物出土状況



第19号住居跡竈遺物出土状況



第20号住居跡遺物出土状況



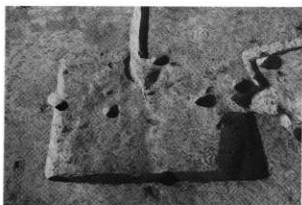
第22・124号住居跡完掘状況



第22・124号住居跡遺物出土状況



第22号住居跡遺物出土状況



第23号住居跡完掘状況



第23号住居跡遺物出土状況



第24号住居跡完掘状況



第28号住居跡完掘状況



第28号住居跡遺物出土状況



第28号住居跡遺物出土状況



第30号住居跡完掘状況



第30号住居跡遺物出土状況



第39号住居跡遺物出土状況



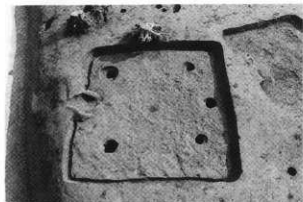
第30号住居跡遺物出土状況



第39号住居跡完掘状況



第39号住居跡遺物出土状況



第40号住居跡完掘状況



第40号住居跡遺物出土状況



第41号住居跡完掘状況



第41号住居跡遺物出土状況



第42号住居跡遺物出土状況



第44号住居跡完掘状況



第44号住居跡遺物出土状況



第44号住居跡遺物出土状況



第45号住居跡完掘状況



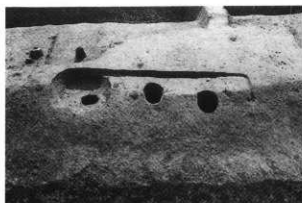
第45号住居跡遺物出土状況



第45号住居跡遺物出土状況



第45号住居跡ピット遺物出土状況



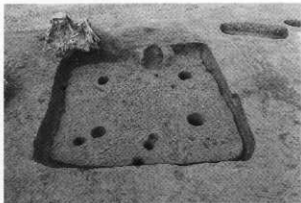
第46号住居跡完掘状況



第47号住居跡完掘状況



第47号住居跡遺物出土状況



第48号住居跡完掘状況



第48号住居跡遺物出土状況



第48号住居跡遺物出土状況



第52号住居跡完掘状況



第53号住居跡完掘状況



第60号住居跡完掘状況



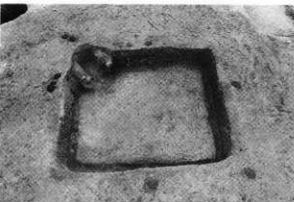
第73号住居跡完掘状況



第73号住居跡完掘状況



第73号住居跡遺物出土状況



第75号住居跡完掘状況



第75号住居跡住居内土坑確認状況



第75号住居跡住居内土坑調査状況



第75号住居跡遺物出土状況



第75号住居跡遺物出土状況



第75号住居跡遺物出土状況



第79・80号住居跡完掘状況



第79・80号住居跡遺物出土状況



第87号住居跡遺物出土状況



第87号住居跡遺物出土状況



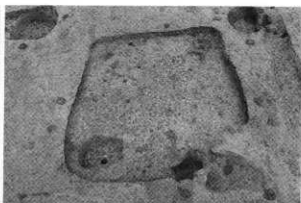
第88号住居跡完掘状況



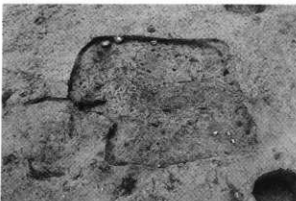
第88号住居跡遺物出土状況



第89号住居跡完掘状況



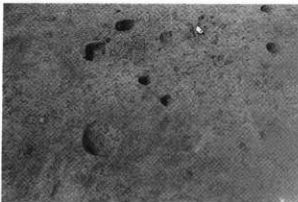
第92号住居跡完掘状況



第92号住居跡遺物出土状況



第92号住居跡遺物出土状況



第93号住居跡完掘状況



第93号住居跡貯藏穴遺物出土状況



第98号住居跡完掘状況



第98号住居跡竈完掘状況



第98号住居跡遺物出土状況



第98号住居跡遺物出土状況



第99号住居跡完掘状況



第100号住居跡完掘状況



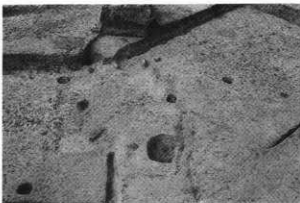
第100号住居跡遺物出土状況



第101号住居跡完掘状況



第103・104号住居跡完掘状況



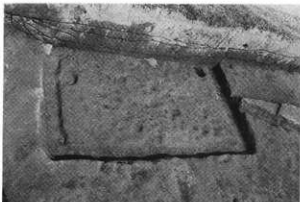
第106号住居跡完掘状況



第108号住居跡完掘状況



第108号住居跡電調査状況



第109号住居跡完掘状況



第120・121号住居跡完掘状況



第120号住居跡遺物出土状況



第120号住居跡遺物出土状況



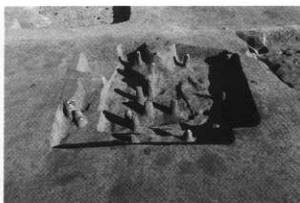
第123号住居跡完掘状況



第124号住居跡遺物出土状況



第125~127号住居跡完掘状況



第125~127号住居跡遺物出土状況



第126号住居跡遺物出土状況



第127号住居跡遺物出土状況



第128号住居跡完掘状況



第128号住居跡遺物出土状況



第128号住居跡遺物出土状況



第128号住居跡遺物出土状況



第129号住居跡完掘状況



第129号住居跡遺物出土状況



第130号住居跡完掘状況



第130号住居跡遺物出土状況



第130号住居跡遺物出土状況



第130号住居跡遺物出土状況



第130号住居跡遺物出土状況



第130号住居跡遺物出土状況



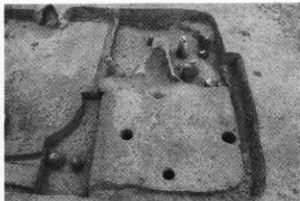
第131号住居跡完掘状況



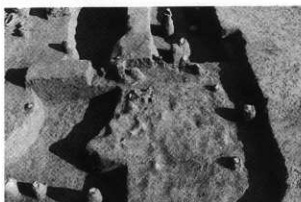
第131号住居跡遺物出土状況



第131号住居跡遺物出土状況



第132号住居跡完掘状況



第132号住居跡遺物出土状況



第133号住居跡完掘状況



第133号住居跡遺物出土状況



第134・144号住居跡完掘状況



第136号住居跡完掘状況



第136号住居跡遺物出土状況



第139号住居跡完掘状況



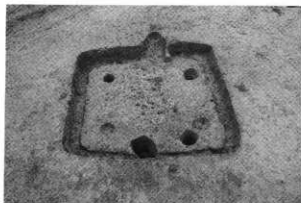
第139号住居跡遺物出土状況



第139号住居跡遺物出土状況



第139号住居跡遺物出土状況



第140号住居跡完掘状況



第140号住居跡遺物出土状況



第140号住居跡遺物出土状況



第140号住居跡遺物出土状況



第141号住居跡完掘状況



第142号住居跡完掘状況



第142号住居跡遺物出土状況



第143・145号住居跡完掘状況



第143・145号住居跡掘り方完掘状況



第143号住居跡遺物出土状況



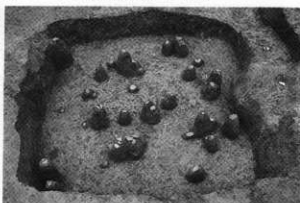
第147・154号住居跡完掘状況



第147・154号住居跡遺物出土状況



第148号住居跡完掘状況



第148号住居跡遺物出土状況



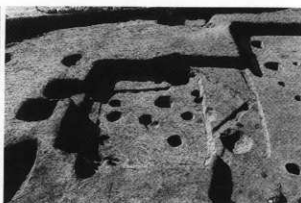
第149号住居跡完掘状況



第150号住居跡完掘状況



第150号住居跡遺物出土状況



第152・153号住居跡完掘状況



第155号住居跡完掘状況



第155号住居跡竈完掘状況



第155号住居跡遺物出土状況



第155号住居跡遺物出土状況



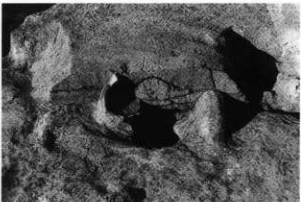
第155号住居跡遺物出土状況



第155号住居跡遺物出土状況



第155号住居跡棚状施設遺物出土状況



第155号住居跡竈調査状況



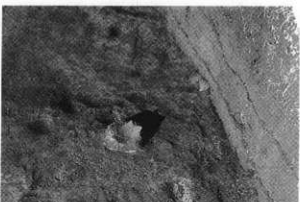
第157号住居跡完掘状況



第157号住居跡竈完掘状況



第157号住居跡遺物出土状況



第157号住居跡遺物出土状況



第158号住居跡完掘状況



第158号住居跡遺物出土状況



第158号住居跡遺物出土状況



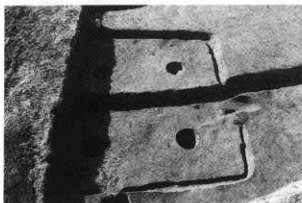
第158号住居跡遺物出土状況



第159号住居跡完掘状況



第159号住居跡遺物出土状況



第162号住居跡完掘状況



第162号住居跡遺物出土状況



第163号住居跡完掘状況



第163号住居跡竈完掘状況



第163号住居跡遺物出土状況



第163号住居跡遺物出土状況



第163号住居跡遺物出土状況



第163号住居跡遺物出土状況



第165号住居跡完掘状況



第165号住居跡遺物出土状況



第166号住居跡完掘状況



第166号住居跡遺物出土状況



第167号住居跡完掘状況



第167号住居跡遺物出土状況



第167号住居跡遺物出土状況



第167号住居跡遺物出土状況



第168号住居跡完掘状況



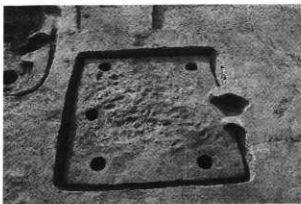
第168号住居跡遺物出土状況



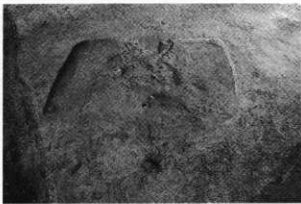
第170号住居跡完掘状況



第170号住居跡遺物出土状況



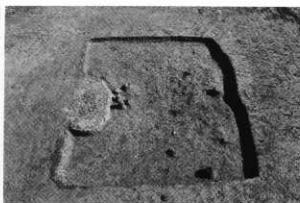
第173号住居跡完掘状況



第174号住居跡遺物出土状況



第175号住居跡完掘状況



第175号住居跡遺物出土状況



第176号住居跡完掘状況



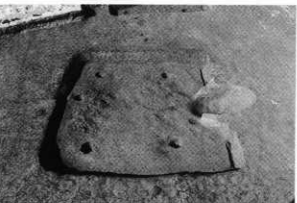
第176号住居跡遺物出土状況



第178号住居跡完掘状況



第178号住居跡遺物出土状況



第179号住居跡完掘状況



第179号住居跡遺物出土状況



第180号住居跡完掘状況



第180号住居跡遺物出土状況



第180号住居跡遺物出土状況



第181号住居跡完掘状況



第181号住居跡完掘状況



第181号住居跡遺物出土状況



第182号住居跡完掘状況



第182号住居跡遺物出土状況



第183号住居跡完掘状況



第184号住居跡完掘状況



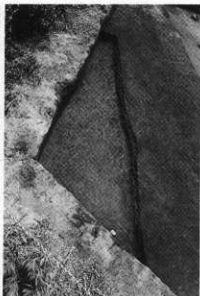
第184号住居跡振り方完掘状況



第184号住居跡遺物出土状況



第42号住居跡完掘状況



第81号住居跡完掘状況



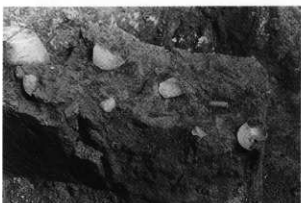
第169号住居跡完掘状況



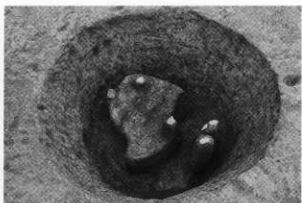
第1号大形土坑完掘状况



第1号大形土坑遺物出土状况



第1号大形土坑遺物出土状况



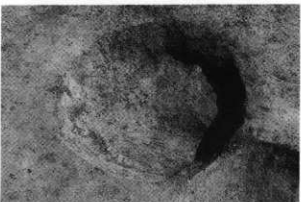
第2号大形土坑遺物出土状况



第2号大形土坑遺物出土状况



第61号土坑完掘状况



第84号土坑完掘状况



第104号土坑完掘状况



第209号土坑遺物出土狀況



第222号土坑遺物出土狀況



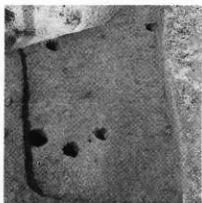
第239号土坑完掘狀況



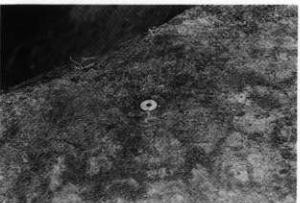
第239号土坑遺物出土狀況



第241号土坑遺物出土狀況



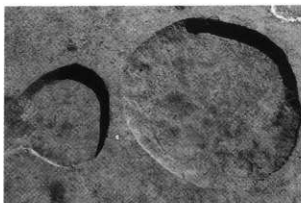
第1号方形竪穴状遺構完掘狀況



第1号方形竪穴状遺構遺物出土狀況



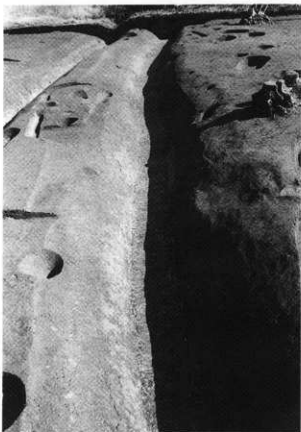
第2号方形竪穴状遺構完掘狀況



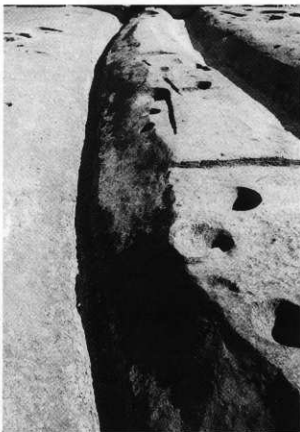
第14・23号土坑完掘状况



第189号土坑完掘状况



第1号堀完掘状况



第2号堀完掘状况



第17号住居跡完掘状况



第25号住居跡完掘状况